

出演者プロフィール



©Ayumi Kakamu

トヨタ・マスター・プレイヤーズ, ウィーン

ウィーン国立歌劇場の協力を得て、本公演のために特別に編成された世界最高レベルの室内オーケストラ。

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン国立歌劇場のメンバーを中心に、ヨーロッパで活躍するアーティスト仲間たちも加わった30名で編成されている。

[芸術監督: フォルクハルト・シュトイデ]

■芸術監督・コンサートマスター



©Ayumi Kakamu

フォルクハルト・シュトイデ **Volkhard Steude** 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 コンサートマスター〉(プログラム A)

1971年ライプツィヒに生まれ、5歳よりヴァイオリンを始める。88年ベルリンのハンス・アイスラー音楽大学に入学、ヨアヒム・ショルツ、ヴェルナー・ショルツ両教授に師事。大学在学中、エスタ国際ヴァイオリン・コンクール第4位入賞、シュポア国際ヴァイオリン・コンクールにて特別賞を受賞する他、グスタフ・マーラー・ユース管弦楽団の第1コンサートマスターを務める等、オーケストラ奏者としても活躍。94年同大学卒業と同時にウィーンに留学、元ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団奏者であるアルフレド・スター教授に師事。同年コンサートマスターとしてウィーン国立歌劇場管弦楽団に入団、98年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団、99年よりコンサートマスターを務めている。2002年には自らが主宰するシュトイデ弦楽四重奏団を結成する等、ソロや室内楽の多方面で活躍している。

■ソリスト



©Ayustet

阪田知樹 **Tomoki Sakata** 〈ピアノ〉(プログラムA)

2016年フランス・リスト国際ピアノコンクール第1位、6つの特別賞。21年エリザベート王妃国際音楽コンクール第4位入賞。

東京芸術大学を経て、ハノーファー音楽演劇大学大学院ソリスト課程に在籍。第14回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにて弱冠19歳で最年少入賞。ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ、聴衆賞等5つの特別賞、クリーヴランド国際ピアノコンクールにてモーツアルト演奏における特別賞、キッシンゲン国際ピアノオリンピックでは日本人初となる第1位及び聴衆賞。国内はもとより、世界各地20カ国以上で演奏を重ね、国際音楽祭への出演多数。15年CDデビュー、20年3月、世界初録音を含む意欲的な編曲作品アルバムをリリース。阪田知樹ピアノ編曲集「ヴォカリーズ」を22年5月に、「夢のあとに」を23年7月に、阪田の作曲した「アルト・サクソフォーンとピアノのためのソナチネ」が23年11月に音楽之友社より出版。内外でのテレビ・ラジオ等メディア出演も多い。17年横浜文化賞文化・芸術奨励賞、23年第32回出光音楽賞、第72回神奈川文化賞未来賞、第20回ベストデビュータント賞を受賞。



©Ayumi Kakamu

ペーテル・ソモダリ **Péter Somodari**

〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団/ウィーン国立歌劇場管弦楽団ソロ・チェロ〉(プログラム A)

1977年ヴェスプレーム(ハンガリー)に生まれる。4歳よりチェロを始める。ブダペスト、ザールブリュッケンの音楽院にて研鑽を積む。2005年マルクノイキルヘン国際コンクールにて優勝を飾る。室内楽奏者として、C.テツラフ、L.カヴァコス、T.ツインマーマン、G.クルターク等多くの音楽家と共に演。ハンガリー国立歌劇場、ルツェルン交響楽団を経て、12年にウィーン国立歌劇場及びウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のソロ・チェリストに就任。18年よりウィーン国立音楽大学客員教授を務めている。

■指揮



©Masaaki Tomitori

広上淳一 Junichi Hirokami (プログラム C)

尾高惇忠にピアノと作曲を師事、音楽、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。26歳でキリル・コンドラシン国際指揮者コンクールに優勝。ノールショピング響、コロンバス響など欧米のオーケストラで数々のポストを歴任。コンセルトヘボウ管、イスラエル・フィル、ロンドン響、サンクトペテルブルク・フィルなどへも客演を重ねる。日本では2022年まで14年にわたり京都市響常任指揮者を務め黄金時代を築いた。現在、オーケストラ・アンサンブル金沢アーティスティック・リーダー、マレーシア・フィルハーモニー管弦楽団音楽監督、日本フィルハーモニー交響楽団フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)、札幌交響楽団友情指揮者、京都市交響楽団広上淳一。東京音大指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。

■管弦楽



名古屋フィルハーモニー交響楽団 Nagoya Philharmonic Orchestra (プログラム C)

愛知県名古屋市を中心に、中部・東海地方の音楽界をリードするプロ・オーケストラ。革新的な定期演奏会のプログラムや、充実した演奏内容で広く日本中に話題を発信。“名(めい)フィル”的愛称で親しまれている。2023年4月川瀬賢太郎が第6代音楽監督に就任。他に現在の指揮者陣には、小泉和裕(名誉音楽監督)、小林研一郎(桂冠指揮者)、モーシェ・アツモン(名誉指揮者)、ティエリー・フィッシャー(名誉客演指揮者)が名を連ねている。26年4月冷水乃栄流が第5代コンポーザー・イン・レジデンスに就任。楽団創立は1966年7月10日。現在はバラエティに富んだ年間110ほどの演奏会に出演。

■メンバー

[ヴァイオリン]



ミラン・セテナ **Milan Šetena** 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

プラハ(チェコ)に生まれる。1988年プラハ音楽院を卒業後、ウィーンにてA.スター教授に師事。90年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、93年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。室内楽奏者として、ザルツブルクをはじめとする音楽祭に出演し、世界各地で演奏活動を行う。また、ウィーン・ストリング・ソロイストのメンバー、シュルホフ弦楽四重奏団の第1ヴァイオリン奏者を務めている。



ホルガー・グロー **Holger Groh** 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

1976年オーストリアに生まれる。ヴァイオリンをF.ディータード、A.スター、T.ヴァルガ、A.ヴィノクロフの各氏に師事。2000年よりグラーツ交響楽団第1コンサートマスターに就任。06年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、09年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。また、リンツ・ブルックナー音楽祭やザルツブルク音楽祭をはじめ、ヨーロッパやアジアの著名な音楽祭に出演し、ソリスト及び室内楽奏者としても活躍している。



ヴィルジニー・ビュスカイユ **Virginie Buscaill** 〈フランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団〉

パリ高等音楽院を首席で卒業後、1996年よりフランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団に入団し、2001年より同楽団のコンサートミストレスに就任。室内楽奏者としてトリオ・ジョルジュ・サンドのメンバーを務め、ラ・フォル・ジュルネをはじめ、数多くの音楽祭に出演した他、オリジナル・レーベルを立ち上げCDをリリースしている。17年よりパリ地方音楽院にて後進の指導にもあたる。



ミヒャール・マチャシチック **Michał Maciaszczyk** 〈ソリスト/ポリッシュ・アート・フィルハーモニック芸術監督〉

8歳から音楽教育を受ける。ポズナン音楽大学卒業。ウィーンに在住し、ウィーン室内管弦楽団のコンマスを務め、ウィーン国立歌劇場舞台管弦楽団、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の客演奏者として多くの世界最高のアーティストとの共演を通して、クラシック音楽の極みを体験している。ソリスト、室内楽奏者及び指揮者としても世界各地で活躍している。現在、ポーランドのデル・アルテ・フェスティヴァル芸術監督も務めている他、客員教授として北京中央音楽院に招かれている。



シュケルツェン・ドリ **Shkelzen Doli** 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

アルバニアに生まれる。セルビアのノヴィ・サド音楽学校を経てウィーン芸術大学を卒業。17歳でユーゴスラヴィア青少年音楽コンクールに優勝し、ソリストや室内楽奏者としてヨーロッパ、北米、アフリカ、イスラエル、日本等の各地で演奏。2006年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、09年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団する他、ウィーン・ヴィルトゥオーゼン、アンサンブル・ウィーン・カレッジ、ザ・フィルハーモニックス等のメンバーを務めている。



アンドレアス・ノイフェルド **Andreas Neufeld** 〈ベルリン放送交響楽団〉

1976年クラスノダル(ロシア)に生まれる。2000年ハイデルベルク・マンハイム音楽大学卒業。EUユース・オーケストラ、グスタフ・マーラー・ユース管弦楽団、ドイツ・オペラ・ベルリン管弦楽団、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ベルリン国立歌劇場管弦楽団、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団等に出演。98~09年ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団第1ヴァイオリン奏者を務め、12年よりベルリン放送交響楽団第1ヴァイオリン・フォアシユピーラーを務めている。



ラヘル・リリング **Rahel Rilling** 〈元北ドイツ放送交響楽団〉

1976年シュトゥットガルト(ドイツ)に生まれる。父であり指揮者のH.リリングに幼い頃から音楽の薰陶を受け、4歳よりヴァイオリンを始める。ソリストとして世界各地のオーケストラと共に演奏する他、著名な音楽祭にも招かれる。また2006年ホーエンシュタウフェン室内楽音楽祭を創設し、毎年秋季シュトゥットガルトの近郊にて開催。

©MeikeKenn



マリアン・ガスパー **Marián Gašpar** 〈元カメラータ・ザルツブルク コンサートマスター〉

1970年ブラティスラヴァ(スロヴァキア)に生まれる。89年よりウィーン国立音楽大学にてG.ヘツツエル、R.キュッヒル、A.スターの各教授に師事。ウィーン・カンマーフィルハーモニー、ウィーン・カンマー・オーケストラ、カメラータ・ザルツブルクのコンサートマスター、またカペラ・イストロポリターナ、スロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団、スピリット・オブ・ヨーロッパ管弦楽団のゲスト・コンサートマスターを歴任。

[ヴィオラ]



エルマー・ランダー Elmar Landerer 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

1974年ザルツブルク(オーストリア)に生まれる。90年グスタフ・マーラー・ユース管弦楽団及びEUユース・オーケストラに入団。

96年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、99年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。

また、99年よりウィーン・フィルハーモニア・トリオ、ベルヴェデーレ・トリオ、2000年よりウィーン・ヴィルトゥオーゼン、

02年よりシュトイデ弦楽四重奏団等のメンバーを務めている。



ペーター・サガイシェック Peter Sagaischek 〈ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団ソロ・ヴィオラ〉

1965年ウィーンに生まれる。ウィーン国立音楽大学にてR.キュッヒル、A.スターの両教授に師事。90年ヴィオラ奏者として
ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団に入団。93年より同楽団のソロ・ヴィオラ奏者。

室内楽奏者として、これまでフィルハーモニー弦楽四重奏団、グスタフ・マーラー四重奏団、トリプルス・ウィーンのメンバーを務める他、
ソリストとしても活躍している。



ローマン・ベルンハルト Roman Bernhart 〈ウィーン交響楽団ソロ・ヴィオラ〉

1968年オイラツフェルド(オーストリア)に生まれる。ブルックナー音楽院をヴァイオリンで卒業後、ウィーン国立音楽大学に進学し、ヴィオラに転向。

アンサンブル・アクトゥエル、エオス弦楽四重奏団等のメンバーとして、ウィーン・コンツェルトハウスのコンサートシリーズに長年出演する他、
ヨーロッパの著名な音楽祭に招かれている。93年よりウィーン交響楽団ソロ・ヴィオラ奏者を務めている。

[チェロ]



エディソン・パシュコ Edison Pashko 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

1973年コルカ(アルバニア)に生まれる。93年グラーツ音楽大学に入学。リーゼン国際チェロ・コンクール第2位受賞。

2010年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、13年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。また、現代音楽の分野でも精力的に活動し、
ウィーン放送交響楽団、アンサンブル・ディ・ライヘ、アンサンブル・ウィーン・カレッジの現代音楽コンサートに出演している。



エリック・ウメンホッファー Erik Umenhoffer 〈ウィーン交響楽団第2ソロ・チェロ〉

1989年バヤ(ハンガリー)に生まれる。8歳よりチェロを始め、ヤーノシュ・シュタルケル・コンクール第1位受賞等、数多くのコンクールに入賞する。

2008年ブダペスト音楽大学に入学し、10年よりR.ナジ教授のもとで研鑽を積む。ウィーン・コンツェルト・フェライン、ウィーン交響楽団等のメンバー
を務める他、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の補助団員としても活躍。現在、ウィーン交響楽団第2ソロ・チェロ奏者。

[コントラバス]



ミヒヤエル・ブラーーデラー Michael Bladerer 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

1968年ヴァイドホーフェン(南オーストリア)に生まれる。ウィーン国立音楽大学を最優秀の成績で卒業。ウィーン交響楽団、

ベルリン・コーミッシェ・オーパー等を経て、99年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、2002年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。

またPMFや南カリフォルニア大学、ニューイングランド音楽院等でマスタークラスを開催。ウィーン八重奏団等のメンバーを務めている。



アンナ・グルッフマン Anna Gruchmann 〈ウィーン国立歌劇場舞台管弦楽団〉

1993年ザルツブルクに生まれる。2019年ウィーン私立芸術大学卒業後、クランゲンフルト歌劇場管弦楽団、リンツ・ブルックナー管弦楽団の首席
コントラバス奏者を経て、23年にウィーン国立歌劇場の舞台管弦楽団に入団。室内楽奏者として「アンサンブル・ミヌイ」のメンバーを務めている。

©Lex Karelly

[フルート]



エルヴィン・クランバウアー **Erwin Klambauer** 〈ウィーン交響楽団ソロ・フルート〉

1968年オーストリアに生まれる。9歳よりブルックナー音楽院にてフルートとピアノを始める。ウィーン国立音楽大学にてW.シュルツ氏に師事、91年最優秀の成績で卒業。93年ウィーン放送交響楽団のソロ・フルート奏者に就任、現在はウィーン交響楽団ソロ・フルート奏者を務める。また、室内楽奏者として、ウィーン放送交響楽団木管五重奏団等のメンバーを務めている。



マティアス・シュルツ-aigner **Matthias Schulz-Eigner** 〈ウィーン国立歌劇場舞台管弦楽団〉

1972年ウィーンに生まれる。ウィーン国立音楽大学にて父のW.シュルツ氏に学び、最優秀の成績で卒業。ソリストとして、これまでウィーン室内管弦楽団、ブルックナー管弦楽団、ザルツブルク・モーツアルテウム管弦楽団、中部ドイツ放送交響楽団等と協演し、各地の音楽祭に出演。ウィーン国立歌劇場管弦楽団、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン放送交響楽団等に出演している。

[オーボエ]



ヘルベルト・マデルタナー **Herbert Maderthaner** 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

1981年ヴァイドホーフェン(南オーストリア)の音楽一家に生まれる。7歳より兄のもとでクラリネットを始める。その後オーボエの音色に魅了され、96年に転向し、2000年ウィーン市立音楽院に合格。05年よりウィーン放送交響楽団の第2オーボエ及びコーラングレ奏者を5年間務めたのち、09年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、13年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。また、室内楽奏者としても活躍している。



ベルンハルト・ハインリヒス **Bernhard Heinrichs** 〈チューリッヒ歌劇場管弦楽団ソロ・オーボエ〉

1963年バンベルク(ドイツ)に生まれる。ミュンヘン音楽大学にてG.バッシン教授に師事。91年チューリッヒ歌劇場管弦楽団のソロ・オーボエ奏者に就任。N.アーノンクール、C.アバド等の著名な指揮者と共に演奏する他、ザルツブルク音楽祭やシュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭、PMF等の世界各地の音楽祭に出演。またアキス五重奏団のメンバーを務める等、室内楽奏者としても活躍している。

[クラリネット]



ゲラルド・パッヒンガー **Gerald Pachinger** 〈ウィーン交響楽団ソロ・クラリネット〉

1967年リード(オーストリア)に生まれる。84年にウィーン国立音楽大学に入学、P.シュミードル教授に師事。87年に首席奏者としてウィーン交響楽団に入団。これまでソリストとして数々の著名な指揮者、またウィーン交響楽団、ウィーン室内管弦楽団等と協演。客演奏者としても定期的にベルリン・フィルハーモニー管弦楽団等に招かれる。ウィーン木管アンサンブル、ウィーン五重奏団、ウィーン室内合奏団等のメンバーを務める等、室内楽奏者としても活躍している。



アンドレア・ゴッチュ **Andrea Götsch** 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

1994年ボルツァーノ(イタリア)に生まれる。ボルツァーノ音楽院、ザルツブルク・モーツアルテウム音楽大学、ニュルンベルク音楽大学、ウィーン市立音楽芸術大学を経て、ウィーン国立芸術大学を優秀な成績で卒業。2019年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、22年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。また、指揮者、作曲家としても活躍。演奏の傍、ウィーン国立芸術大学、ザルツブルク・モーツアルテウム音楽大学にて後進の指導にもあたる。

©Julia Frank

[ファゴット]



リヒャルト・ガラー **Richard Galler** 〈ウィーン交響楽団ソロ・ファゴット〉

1967年グラーツ(オーストリア)に生まれる。ザルツブルク・モーツアルテウム大学にてM.トゥルコヴィッチ氏に師事。パブロ・カザルス音楽祭、浜松国際管楽器アカデミー、PMF等世界各地の音楽祭に出演。87年ウィーン交響楽団の首席ファゴット奏者に就任。2004年よりM.トゥルコヴィッチの後任としてウィーン国立音楽大学教授を務めている。ウィーン室内アンサンブル、ウィーン=ベルリン木管五重奏団のメンバーとしても活躍している。



ビアンカ・シュースター **Bianca Schuster** 〈ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団〉

1973年フォアアールベルク(オーストリア)に生まれる。93年にウィーン芸術大学に入学、M.トゥルコヴィッチ、S.トゥルノフスキイの両教授に師事。2012年よりウィーン・フォルクスオーパー管弦楽団第1ファゴット奏者。また、客演奏者としてウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン国立歌劇場等に招かれる他、ウィーン室内管弦楽団等のメンバーを務めている。グスタフ・マーラー私立音楽大学教授。

[ホルン]



ロナルド・ヤネツイック **Ronald Janezic** 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団首席〉

1968年ノインキルヘン(オーストリア)に生まれる。父親は元ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のホルン奏者。6歳よりヴァイオリンを始める。ウィーン国立音楽大学に入学後、83年ホルンに転向。90年第1ホルン奏者として、ウィーン国立歌劇場管弦楽団に入団。92年よりウィーン・フィルハーモニー管弦楽団ソロ・ホルン奏者。また、ソリストとして、同楽団と協演したCDもリリースされている。



ヤン・ヤンコヴィッチ **Jan Janković** 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

1984年ザグレブ(クロアチア)の音楽一家に生まれる。96年ウィーン市立音楽大学に入学、F.ガブラー、W.ヤネツイックの両氏に師事。2003年最優秀の成績で卒業後、ウィーン・トーンキュンストラー管弦楽団やザグレブ・フィルハーモニー管弦楽団を経て、08年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、11年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。また、ウィーン・ヴィルトゥオーゼンやウィーン木管八重奏団等のメンバーを務めている。

[トランペット]



ステファン・ハイメル **Stefan Haimele** 〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

1982年クラーゲンフルト(オーストリア)に生まれる。小学生の頃より父のF.ハイメル氏にトランペットを学ぶ。ウィーン国立音楽大学にてJ.ポンベルガー氏に師事、2002年卒業。ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団をはじめとするウィーンの主要な管弦楽団にて客演奏者として活躍。04年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、07年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。



ゲルハルト・ベルndl **Gerhard Berndl** 〈ウィーン国立歌劇場舞台管弦楽団〉

1981年シュタイヤー(オーストリア)に生まれる。10歳よりアッショバッハ音楽学校にてトランペットを始める。ウィーン国立音楽大学にてJ.ポンベルガー氏に師事し、2008年卒業。ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団をはじめ、ウィーンの主要な管弦楽団にて客演奏者として活躍、03年9月よりウィーン国立歌劇場舞台管弦楽団へ入団。

[ティンパニ]



ミヒヤエル・ヴラダー **Michael Vladar** 〈ウィーン交響楽団ソロ・ティンパニ〉

1962年ウィーンに生まれる。ウィーン国立音楽大学にてH.ベルガー教授に師事。84年よりザルツブルク・モーツアルテウム管弦楽団、カメラータ・アカデミカ・ザルツブルクのティンパニ奏者を歴任し、90年ウィーン交響楽団のソロ・ティンパニ奏者となる。またウィーン・ヴィルトゥオーゼン、ウィーン・コンツェントラス・ムジクス等のメンバーとしても活躍している。